

令和7年度

事業計画

社会福祉法人

西予総合福祉会



令和 8 年度 事業計画（案）

社会福祉法人 西予総合福祉会

I. 基本理念

高齢者に生きがいを

障がい者には希望を

こどもには大きな夢を

西予総合福祉会は、多様化していく社会の要請に応じ、総合的多角的な福祉サービスを展開し、心豊かな地域社会づくりを推進します。

II. 基本姿勢

地域で「その人らしく」生活できるように総合的な福祉サービスを提供します。

個人の尊厳を守り、高い人権意識を持つ福祉人財を創出・育成します。

やさしさと温かさあふれる地域づくりに貢献します。

III. ビジョン

【利用者満足のために】

地域から信頼され、選ばれ続ける組織である

福祉サービスをワンストップで提供できる体制を持つ

地域ニーズやライフステージの変化に柔軟に応える組織

【職員満足のために】

安心して働き続けられ、誇りを持てる職場環境

能力や技術を高め、一人ひとりが成長・活躍できる組織

風通しがよく、公平で納得度の高い人事考課を行う組織

【経営満足のために】

健全経営を維持し、時代の変化を捉えて成長し続ける組織

基本理念を理解し実践する職員が活躍する職場

人材が集まり、人が育つ環境と仕組みを持つ組織

IV. 職員行動指針（求められる人材像）

自分の仕事に誇りを持ち、利用される方すべての喜びに向けて邁進する職員

【人の気持ち・心に敏感な職員】

利用者の喜びを自分の喜びとして感じ、相手を思いやる心を持つ

気配りや気づきがあり、感謝を言葉にできる

円滑なコミュニケーションで信頼関係を築ける

【自己を律することができる職員】

自己管理・自己統制ができ、感情や行動をコントロールできる
ストレスに左右されず、愚痴や否定的な言動をしない
常にリスクを意識し、安全で冷静な判断ができる

【自ら進んで進化し続ける職員】

前向きに行動し、創意工夫と改善意識で生産性を高める
探究心と自己啓発意欲を持ち、学びや資格取得に挑戦する
判断力とリーダーシップを発揮し、周囲を動かしていける

【組織・チームと生きる職員】

法人理念に共感し、組織の一員として行動できる
報連相を徹底し、同僚・上司・他部署と協力できる
責任感を持ち、自分に期待される役割を果たす

V. 重点目標

1. 地域オンリーワン

(1) 基本理念・基本姿勢・ビジョン・職員行動指針の浸透化

- ①事業所での説明、共有
- ②職員研修会での周知

(2) 地域におけるブランドイメージの向上

- ①ボランティアの受入、介護教室の実施
- ②法人メディア戦略（広報誌、SNS、Webなど）の充実
- ③法人SDGsの具体的な取組の設定及び発信

(3) マスタープラン2040の推進

- ①プラン達成に向けた意識の共有
- ②エンゲージメント経営の実践

2. 利用者と家族の幸せ

(1) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足の更なる向上

- ①既存サービスの検証及び見直し
- ②福祉ニーズの把握による新たな事業展開への取組み
- ③人口減少社会への対応

3. サービスの質の向上と標準化

(1) サービスの「質」及び「標準化」の充実

- ①ジョブ型人事考課制度の整備
- ②施設内外研修の充実
- ③職員の教育指導体制（OJT）の強化

4. 職員の充実

(1) 福祉人財の確保・育成

- ①人事制度（役割等級制、オーダーメイド雇用）の整備
- ②ハローワークとの連携及びリファラル採用の強化
- ③次世代職員の育成及びキャリア形成の支援

(2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進

- ①カスタマーハラスメント対策の整備
- ②健康管理（メンタル・腰痛・健診など）対策の強化
- ③福利厚生の実施

5. 財務の健全化

(1) 事業所単位での経営の安定化

- ①経営状況の把握・分析及び対策・改善
- ②職員配置の適正化及び基準値の明確化
- ③AI・ICT・ロボット活用環境の整備

(2) 事業の「健全性」及び「継続性」の向上

- ①中長期事業計画（2045年度迄）の作成
- ②内部監査の実施
- ③防災・減災への取組み

VI. 数値目標

No	内容	目標値
1	定年退職者を除く正職員の離職率	5%以下
2	労災保険対象事故の発生件数	前年度対比10%削減
3	一人当たりの時間外労働	月平均3時間以下
4	法人が指定する資格の取得者	15人以上
5	正職員の有給取得率	70%以上
6	育児休暇取得率（正職員）	100%
7	Instagramの閲覧数	前年度対比10%増加
8	障がい者雇用率	2.5%（法定雇用率）維持
9	人件費率	68%以下
10	サービス活動増減差額比率（償却前）	12%以上
11	職員1人当たりサービス活動収益	6,700,000円以上
12	職員1人当たり人件費	4,600,000円以上

VII. 会議の開催予定

- | | |
|-----------------|--------------------|
| (1) 理事会 | (3ヶ月に1回以上) |
| (2) 法人幹部会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (3) 施設長会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (4) 評議員会 | (6月及び必要がある場合はその都度) |
| (5) 運営協議会 | (7月及び必要がある場合はその都度) |
| (6) 監事監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (7) 会計監査人監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (8) 評議員選任・解任委員会 | (必要がある場合はその都度) |

VIII. 法人本部組織

組織名	内容
人事課	人材確保に関する事項（人材確保戦略の立案・策定）
	職員の研修に関する事項（人材育成方針の立案・策定）
経営企画課	法人マネジメントに関する事項（経営戦略の策定・推進）
	中長期計画作成に関する事項（中長期計画の策定・推進）
デジタル推進課	D X 推進に関する事項（D X 方針の策定）
事務局	事務管理部門の集約（総務係・給与係・請求係・財務係）

IX. 法人内委員会組織

委員会名	内容
福利厚生	職員の福利厚生に関する事項（内容の検討・整備）
ボランティア	ボランティア等に関する事項（内容の企画・推進）
S D G s	S D G s に関する事項（S D G s 活動の推進・地域発信）
広報	広報誌に関する事項（広報誌の企画・情報発信）
	S N S ・ H P 等に関する事項（S N S 等の運用推進・情報発信）
内部監査室	法人内部監査に関する事項（内部監査の計画・実施）
危機管理室（防災）	防災計画・B C P に関する事項（災害に備えた安全対策の強化）

X. 事業部内委員会組織

事業部名	委員会名
高齢福祉事業部	人材に関する委員会 サービス向上に関する委員会 経営に関する委員会
養護・障がい事業部	O J T委員会 建設・高齢化等プロジェクト
児童事業部	研修委員会 保育会（I C T委員会含む） 人材育成委員会 創作部会

【各事業部及び施設別事業計画は別紙のとおり】

令和7度 老人事業部重点目標

1. 地域オンリーワン
 - (1) 基本理念・MDCVSの事業部内への浸透化
 - ・高齢者の人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
 - (2) 地域におけるブランドイメージの向上
 - ・ボランティアの受け入れや介護教室の開催を通して、地域住民に介護事業の更なる理解、促進につなげる。
 - ・災害時、感染症拡大時の事業継続計画（BCP）や防災（感染症）・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、災害時の拠点づくりを目指す。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 利用して良かったと思ってもらえる施設・事業所づくり
 - ・障がい（認知症）の有無にかかわらず、共に生きる社会を目指し障がい（認知症）のある人が希望をもち、その人らしい暮らしを継続できるケアを構築する。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) コンプライアンス体制の充実と検証
 - ・身体拘束、虐待について年間を通じて研修を行い、しない、させない、事業所づくりを行う。
 - ・介護ロボット、ICT化を更に進め、業務負担の軽減及びケアの質の確保を資する介護現場の生産性向上が図れるよう、調査研究を継続的に行う。
 - ・利用者への接遇、職員の専門知識の習得、介護技術の向上のために、OJT委員会を中心に研修計画を策定し実践する。
4. 職員の充実
 - (1) 福祉人財の確保と定着
 - ・高齢者、障がい者、外国人などの多様な人材が活躍できるよう労働環境を整える。その中でも外国人が働きやすい環境を整える。
 - ・介護教室や業界団体の活動により、高齢者施設で働くことの魅力をより多くの人に知っていただき、人材確保・育成につなげる。
 - ・職員が働きやすい環境整備に努める。
5. 財務の健全化
 - (1) 事業所単位での経営の安定化
 - ・介護保険制度を熟知し、取得可能な加算等必要な体制を整え、経営の安定化を図る。また、適正な人員配置やコスト削減に努める。
 - ・食事の提供について、セントラルキッチン等調査研究を行い、経営の安定と利用者満足を両立できる方式を研究していく。
 - ・高齢者人口の増加や人口の減少等の状況を見ながら、地域における事業の在り方について検討する。

令和7年度 養護・障がい事業部重点目標

1. 地域オンリーワン
 - (1) 基本理念・MDCVSの事業部内への浸透化
 - ・子どもや障がいのある方の人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
 - (2) 地域におけるブランドイメージの向上
 - ・ボランティアや実習生等を積極的に受け入れ、社会的養護の必要な子ども達や障がいのある方々への理解、促進につなげる。
 - ・災害時、感染拡大時の事業継続計画（BCP）や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行う。
 - ・ホームページや広報紙、SNS等を利用して情報発信及び情報公開を行い、地域の中の施設として広く知ってもらう。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 利用して良かったと思ってもらえる施設・事業所づくり
 - ・子育て支援や障がいのある方々の支援へのアドバイスなど相談しやすい場所としてネットワークを構築し、様々なニーズに対応する。
 - ・地域共生社会の実現に向けて、地域で果たすことのできる機能（役割）を模索し実践できる体制を整える。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) コンプライアンス体制の充実と検証
 - ・専門知識の習得、技術の向上のために、OJT委員会を中心に研修計画を策定し実践する。
4. 職員の充実
 - (1) 福祉人財の確保と定着
 - ・養護施設や障がい施設で働くことの魅力をより多くの人に知っていただく活動を行い、人材確保・育成につなげる。
 - ・人事制度の定着を図りモチベーションアップのための働きかけを行うとともに、職員同士が意見交換し合うことで主体的に働ける環境づくりを推進する。また、時間外労働の削減や有給休暇取得率の向上、メンタルヘルス対策を行う。
5. 財務の健全化
 - (1) 事業所単位での経営の安定化
 - ・制度や法律を熟知し必要な体制を整え利用者満足につなげることで、経営の安定化を図る。また、適正な人員配置やコスト削減に努める。
 - ・経営分析を行い、経営状況を把握する。
 - ・将来を見据えた施設整備、設備整備計画を策定する。
 - 希望の森建て替えの計画
 - 松葉学園隣接地の利用方法検討

令和7年度 児童事業部重点目標

1. 地域オンリーワン
 - (1) 基本理念・MDCVSの事業所内への浸透化
 - ・子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
 - (2) 地域におけるブランドイメージの向上
 - ・法人の基本理念・各園の保育理念のもと、園児や保護者との信頼関係を築き安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
 - ・SNS等を利用し、情報発信を積極的に行い、保護者、地域の方の園への理解度を高めていく。
 - (3) SDGSへの取り組み
 - ・研修などを通してSDGSに対する理解を深める。
 - ・様々な取り組みを実践し、職員・保護者・地域へ発信していくと共に、持続可能な未来を目指す。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足の更なる向上・地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供ができるようにする。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) サービスの「質」及び「標準化」の充実
 - ・専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、サービスの質の向上につなげる。
 - ・定期的なマニュアルの見直しを行い、サービスの標準化を図る。
4. 職員の充実
 - (1) 福祉人財の確保・育成
 - ・学生のインターンシップ・実習生やボランティアの受け入れを積極的に行う。
 - ・人材育成委員会を中心にOJT等を活用し、現場での職員の育成に努める。
 - (2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進
 - ・時間外労働の削減と、有給休暇や休憩の取得ができる体制を構築し、魅力ある職場環境をつくる。
 - ・相談しやすい職場環境を作り、メンタルヘルス対策に努める。
5. 財務の健全化
 - (1) 事業所単位での経営の安定化
 - ・地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映させていくと共に、将来を見据えた計画的な施設整備を実施し、安定した経営に努める。
 - (2) 事業の「健全性」及び「継続性」の向上
 - ・災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、防災・減災への取り組みに努める。

施設名 : 松葉寮

【施設理念】

- ・誰もが利用したくなる施設づくり

【経営方針】

- ・施設理念に基づき、常に相手の立場に立ち、利用者お一人お一人を大切にする。
- ・松葉寮での仕事に誇りと愛情が持てる職員を育成し、職員同士が認めあえる関係を醸成する。
- ・各事業所の利用率・利用者数向上に努め、安定した経営に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) ボランティアの受け入れや、運営推進会議を通し、地域住民に施設、介護について更に理解いただけるようにし、開かれた施設となるよう努める。
- (2) 災害時の事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、福祉避難所の受け入れを含め、災害時の拠点づくりを目指す。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) すべての利用者が、日々楽しみを持ち、その人らしい暮らしができる支援を考え実践する。
- (2) 家族との交流機会（家族会、行事等）が持てるよう企画を行う。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 身体拘束、虐待0（ゼロ）が継続できるよう、指針、マニュアルを再確認し、継続的に研修を行う。
- (2) 業務の見直し改善について会議を開催し、ICT、介護ロボット導入の検討を含め、介護の生産性向上を図る。

4. 職員の充実

- (1) 職員一人一人が、働き甲斐がもてるようOJTの実践及びOFF-JTを活用し、人材育成を行い、利用者への接遇や介護技術・知識の習得に努める。
- (3) EPA介護福祉士候補生、技能実習生のやりがいの向上に努めると共に、高齢者や障がい者など、多様な人材が活躍できる労働環境を整える。

5. 財務の健全化

- (1) 介護保険制度を熟知し、関連する加算等を取得することで、介護の質を確保し、経営の安定化を図る。
- (2) 職員の適正配置の確認や支出の削減により、健全な経営を目指す。
- (3) 利用者への食事について、法人でのセントラルキッチン等、様々な提供形態の情報収集を行い、今後のあり方について検討を行う。

【数値指数】

	松葉寮			
	地域密着	広域	短期入所	
利用者定員	19名	56名	20名	
1日の平均利用者数	18名	55.0名	18名	
稼働率	94.7%	98.2%	90.0%	
総収入(千円)	105,288	254,485	76,661	
職員数	正職員	10名	33名	9名
	パート	4名	22名	3名

施設名 : 開明の杜

【施設理念】

- 一人ひとりの思いを暮らしに映す。

【経営方針】

- 「当たり前暮らし」「思い思いの暮らし」「つながりのある暮らし」をつくり、まもり、ささえることに全力をつくす。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- 専門知識を活かした、地域に開かれた施設づくり。
 - (1) 各種団体・事業者等と連携を図り、SDGsの視点も踏まえた地域における役割を担う。
 - (2) BCPや各防災計画の見直しを行うとともに、福祉避難所としての備えを行う。
 - (3) ホームページ等を通じた情報発信を行い、開かれた施設を目指す。
 - (4) 地域リーダーとして専門性の高い相談窓口、迅速・丁寧な相談支援の対応を行う。

2. 利用者と家族の幸せ

- 利用者（入所者・在宅）及び、その家族の思いに寄り添う。
 - (1) 利用者と家族が共に楽しむ事ができる環境をつくり提供する。
 - (2) 感染症標準予防策を講じたうえで、入居者の生活の質を落とさない工夫を行い実現させる。
 - (3) 利用者、家族が抱える悩み・相談への対応と、その解決に向けた連携を強化する。
 - (4) 看取りケア等、様々なニーズに対応できる職員の育成に努める。

3. サービスの質の向上と標準化

- 専門職としての学びを充実し、社会的地位向上に向けた意識改革。
 - (1) 業務改善活動を推進し生産性向上に努め、必要となるテクノロジーの調査を行う。
 - (2) 良質なケアを安定提供するために、部署や委員会間の連携を強め、必要に応じた業務の見直しや配置換え等も検討することで風通しの良い職場環境とする。
 - (3) ユニットケアの理念「暮らしの継続」に沿った取り組みを検討し実践していく。
 - (4) ホームページ等を更新・活用することで施設の評価獲得に繋げる。

4. 職員の充実

- 生産性向上と、やりがいの追求。
 - (1) 働きやすい職場環境づくりに必要な業務改善を行うとともに、組織活性化に繋げる。
 - (2) 労働衛生管理の下、腰痛予防、服装、5S活動、福祉用具などを活用し負担軽減を行う。
 - (3) 外部研修への積極的な参加と、その振り返りを行うことで職員の資質向上を図る。
 - (4) 各委員会による研修会や勉強会等の開催を通じ、職員自らの学びへの意欲向上を目指す。
 - (5) 外国人技能実習生にもやりがいの持てる労働環境を提供し、安定就業に繋げる。

5. 財務の健全性

- 稼働率の向上及び増収
 - (1) 空床発生前より、入所判定上位者との連携を図ることで空床期間の短縮を図る。
 - (2) 誤嚥性肺炎予防など、入院の原因分析等を看護、介護、協力医療機関及び協力歯科医院と行う。
 - (3) 加算の見直し及び、新規加算の算定を行い増収に繋げる。
 - (4) 光熱費や物価高騰等への対応を含めた安定的な経営を行う。

【数値指数】

	開明の杜	短期入所	居宅介護支援	訪問介護	
利用定員	29名	10名	336名（介護）	要介護名280/月	
			60名（予防）		
1日の平均利用者数	28.0名	9名	315名/月（介護）	総合 240名/月 障がい 20名/月	
			54名/月（予防）		
稼働率	96.6%	90.0%	—	—	
総収入（千円）	160,256	46,718	51,799	14,736	
職員数	正職員	19名	5名	9名	1名
	パート	12名	2名	—	7名

施設名 : 皆楽園

【施設理念】

- ・皆楽園に住んでよかった、利用したいと言える施設づくり

【経営方針】

- ・常に利用者の人権面に配慮したサービスを提供し、その人らしい暮らしの継続を支援する。
- ・地域の中の施設という意識を持ち、積極的に地域福祉に貢献する。
- ・専門職の自覚を持ち、向上心をもって技能・知識の習得に努める。
- ・職員が働きやすくやりがいがあるよう、職場環境の整備に努める。
- ・収支バランスを考え健全経営となるよう運営する。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 介護教室や清掃活動等の地域交流行事を実施する。
 - (2) 関係者との連携を密にし、積極的に地域の生活困難者の受け入れを行う。
 - (3) 有事に備え、防災計画や感染症マニュアル・BCPの確認と見直し、福祉避難所としての整備を行う。
 - (4) SDGs への取り組みを理解し、安心して過ごせる地域づくりを目指す。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 人権尊重を第一に考え、自立支援の視点を持ち、意向に沿ったサービスを提供する。
 - (2) 利用者・家族の声に耳を傾け、信頼を頂けるよう必要な情報提供を行う。
 - (3) 認知症ケア・看取りケアなど、利用者のニーズに応じた対応を行う。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 定期的な研修を行うことで、虐待や身体拘束をしない・させない事業所づくりを行う。
 - (2) 専門職としての技能・知識の習得を図るため、積極的に研修会に参加する。
 - (3) 基本を大切にマニュアル遵守し、利用者への接遇や介護において丁寧な対応を心掛ける。
 - (4) ノーリフティングケアを更に推進し、利用者・職員双方の負担軽減となる移乗ケアを提供する。
 - (5) 各種感染症に関する知識を深め、情報収集を行い、感染防止に努める。
4. 職員の充実
 - (1) 有給休暇やリフレッシュ休暇が取得しやすい環境づくりに努める。
 - (2) ICT機器を浸透させ業務改善を行う事で、ケアの質を保ちつつ生産性向上に繋げ、負担軽減と時間外労働の削減を行う。
 - (3) 普段から風通しの良い人間関係を形成することで、メンタルヘルスの維持・向上に努める。
 - (4) 職員の目指す資格取得に向けた支援を行う。
 - (5) 外国人技能実習生の継続的雇用と定着化を行う。
5. 財務の健全化
 - (1) 待機者の状態確認を先行することにより、空床期間の短縮に努める。
 - (2) リスク管理と健康管理をしっかりと実施することで、入院者の減少に努める。
 - (3) 職員全員が経営感覚を持ち、算定可能な加算の検討や無駄な経費削減に努める。

【数値指標】

	デイサービス	皆楽園	
		老人ホーム	短期入所
利用者定員	18名	50名	10名
1日平均利用者数	14.0名	48.0名	8.0名
稼働率	77.8%	96.0%	80.0%
総収入(千円)	40,163	262,876	37,127
職員数	正職員	5名	3名
	パート	2名	3名

施設名 : あけはま荘
ケアハウスはまゆう

【施設理念】

- “敬う” ところと “見つめなおす” ところ
 - ・ご利用者の尊厳を保持し安心安全な生活の提供と、愛され、信頼される施設づくりを目指すため、他者を敬い、自らを見つめなおす努力を続ける。

【経営方針】

- ・利用者お一人おひとりのニーズに対応できる質の高いサービスを提供する。
- ・職員が働きやすい職場を醸成し、働きがいの向上を目指す。
- ・社会福祉法人として地域における公益的取り組みを実践する。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 専門知識を活かした活動（介護の勉強会・介護教室等）を外部で開催する。
 - (2) 利用者の安全を守る取り組みを実施する。（感染症・防災・BCP計画の見直し・訓練実施）
 - (3) 法人HP・SNS等での定期的な情報発信に努め、広く施設をPRする。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 家族や職員、他入居者と共に楽しみ安らぐことのできる環境を提供する。
 - (2) 最後まで豊かな人生となるよう看取り介護の更なる充実を行う。
 - (3) 地域にある、困難事例等に積極的な関わりが持てるよう関係機関との連携を図る。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 職員がいきいきと働き、利用者への対応時間増加を目指し、業務改善（生産性向上）に努める。
 - (2) 事業内容の意図に沿ったロボット・センサー・ICTといったテクノロジー導入を進める。
 - (3) OJTを含めた積極的な研修会への参加で、職員のスキル向上と業務改善、業績アップを目指す。
 - (4) 科学的介護を推進し、望ましい介護サービスを把握することで、根拠のある介護を提供する。
 - (5) 施設を一新し、快適な環境で質の高いサービスを提供できるよう大規模改修を成功させる。
 - (6) 改修期間やその後の食事提供に関する情報提供を怠らず、安心して食事を楽しんでいただく。
4. 職員の充実
 - (1) 勤務時間・勤務形態への柔軟な対応やロボット・ICTの導入に加え、メンタルヘルス対策（ストレス確認・対応）を重要視し、働きやすい環境作りを目指す。
 - (2) 技能実習生の新制度（就労支援）への対応、それぞれの目的達成に挑戦できる環境を整える。
 - (3) 介護のイメージを刷新しつつ活躍の場を創出し、元気高齢者及び多様な人材の参入促進に繋げる。
 - (4) 労働衛生管理体制整備を継続し、安心して働く事ができる環境で腰痛予防対策の推進を図る。
5. 財務の健全性
 - (1) 稼働率100%を常に意識し、加算の見直し及び取得可能な加算算定を行う。
 - (2) ケアの質向上を進め、骨折、誤嚥性肺炎、尿路感染等を原因とする入院予防に繋げる。
 - (3) 空床利用を含め、利用者ニーズに合わせた短期入所の受け入れを積極的に行う。
 - (4) 大規模改修期間中も高い稼働率を維持できるように、計画的な受け入れを実施する。
 - (5) ロボット・ICT等の導入を含め、既存のリース物件の見直しを行い無駄な支出を見直す。

【数値指数】

	特養	短期	明浜デイ	ケアハウスはまゆう	
			通所介護	一般	特定
利用者定員	85名	5名	18名	30名	
1日平均利用者数	80名	5名	10名	28.0名	
稼働率	94.1%	100.0%	55.6%	93.3%	
総収入(千円)	367,427	20,175	31,567	67,132	
職員数	正職員	3名	3名	4名	
	パート	—	4名	6名	

施設名 : 宇和デイサービスグループ

【施設理念】

- ・在宅生活を継続する住民（利用者・家族）の心強いサポーターであろう！

【経営方針】

- ・個人の尊厳を守り、高い人権意識を持つ福祉人材を育成する。
- ・法人が推進する「ワンストップ構想」の早期実現のため担当との連携力を深め積極的な情報発信に努める。
- ・在宅生活継続支援施設として安心を提供し地域で最も「求められる施設」を目指す。
- ・利他の考えで日々の運営に努める。
- ・リハビリを希望される利用者や家族の要望に寄り添う援助を行う。
- ・認知症への理解を深め利用者や家族の要望に寄り添う施設にする。
- ・離職者0（ゼロ）を目指す。
- ・満面の笑顔での支援を目指す。
- ・災害時、感染拡大時の事業計画（BCP）及び防災（感染症）危機管理対応マニュアルの定期的な見直しを行い実効性のあるものにする。

【事業計画】

1. 宇和デイグループ合同職員会の充実を図り、介護保険制度について情報を収集し、取得可能な加算等、必要な体制を整え、経営の安定化を図る。また、適正な人事配置やコスト削減に努める。
2. 研修会や勉強会を実施することで、職員のスキルアップを行う。また、内部研修の充実を図り介護力・人間力を向上させる。
3. 各事業所管理者で構成する管理者会を実施し情報共有に努め応援体制の強化を図り、風通しの良い施設づくりに努める。
4. 介護ロボット、ICT化を進め、業務負担の軽減及びケアの質の確保を資する介護現場の生産性向上を図る。
5. 職員が有給休暇取得できるよう環境整備に努める。

【数値指数】

	福祉の里 デイサービス	ななほし中川		あんしんの家		うつのみやさ んの家
		通所	短期	通所	短期	
利用定員	40名	14名	5名	14名	4名	9名
1日平均利用者数	26名	10.0名	4.0名	10.0名	3.0名	9.0名
稼働率	65.0%	71.4%	80.0%	71.1%	75.0%	100.0%
総収入（千円）	76,826	48,735		52,615		39,465
職員数	正職員	8名		7名（陽より兼務）		5名
	パート	5名		5名（陽より兼務）		2名
	陽より	リハビリ専門 デイサービス歩		蘭		
利用定員	15名	AM20名・PM20名		18名		
1日平均利用者数	4.0名	31.0名（1単位15）		17.0名		
稼働率	26.7%	78.0%		94.4%		
総収入（千円）	4,090	35,821		75,933		
職員数	正職員	1名（兼務）		5名		10名
	パート	1名（兼務）		2名		2名

施設名 : ケアハウスれんげ

【施設理念】

- ・思いやりの心を大切にし、心豊かな生活と尊厳のある生活を支援する。

【経営方針】

- ・混合型特定施設の特性を理解し、安心して住み続けることのできる施設を目指す。
- ・健康管理、リスク管理に努め、入居率100%を目指す。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) プライバシーや人権に配慮した支援であるかセルフチェックを怠らない。
- (2) 自然災害や感染症のリスクに備え、事業継続計画の実効性を高める。
- (3) ホームページや“れんげだより”の充実を図る。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) ICT等を活用し家族との繋がりを密にする。
- (2) 家族や地域とのかかわりを深めるため、訪問の機会を多く設ける。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 認知症を正しく理解し、専門職として適切な支援にあたる。
- (2) 職員のスキルアップを図り、利用者本位のサービスを提供する。

4. 職員の充実

- (1) ナースコールを更新し、見守り、通信機能の充実により職員の負担軽減を図る。
- (2) 職員それぞれが時間管理を意識し、効率よく役割分担業務にあたる。

5. 財務の健全化

- (1) 介護報酬制度を正しく理解し、新規加算の算定や既存加算の要件維持に努める。
- (2) 照明の完全LED化、給湯ボイラーの更新を行いランニングコストの削減を図る。

【数値指数】

		特定	一般
利用者定員		30名	
1日平均利用者数		29.0名	
稼働率		96.7%	
総収入(千円)		77,793	
職員数	正職員	6名	
	パート	4名	

施設名 : 三楽園

【施設理念】

- ・心安らぐ生活の場を提供し、ご家族及び地域より信頼される施設を目指す。

【経営方針】

- ・入所者の人権・尊厳を重んじ、生きがいを大切にして自分らしい生活が送れるよう支援する。
- ・入所者お一人お一人が安心して生活できる環境を整える。
- ・様々な形での社会交流・参加を積極的に行い、地域に開かれた施設を目指す。
- ・福祉職としての誇りと向上心を持ち、自己研鑽に努める。
- ・職員のモチベーション向上に繋がるよう、労働環境の整備に努める。
- ・健全経営に向け、稼働率の維持ならびに経営努力を行う。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 高齢者の人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
- (2) 大規模災害時に備え、防災対策の徹底を図り、地域や関係機関と連携することで、福祉施設としての役割を果たす。
- (3) 感染症に対する、知識、技術の向上を図り発生時の迅速な対応を行うことで、安全で安心できる施設を目指す。
- (4) SDGsについての理解、浸透を図り、「だれ一人取り残されない、尊厳を保ちながら暮らせる社会」を目標として、安心して過ごせる地域づくりを目指す。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) ご利用者様、ご家族様が抱える悩みに耳を傾け、その解決のために関係機関との連携を図り最善の対応に努める。
- (2) 福祉ニーズやライフステージの変化に応え、利用者の満足に繋げる。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) QOLに資するサービスの質の向上を目指し、OJT活動にて医療・介護、生活支援に関する正しい知識を身につけることで、利用者の有益なサービス提供に取り組む。
- (2) コンプライアンス、プライバシー保護について、教育・指導を徹底し適切な体制構築に努める。
- (3) ICT等の導入を研究し、「利用者満足」「職員満足」を追求することで、選ばれる施設を目指す。

4. 職員の充実

- (1) 職員一人ひとりの意思が尊重され、「職員満足」を追求できるチームワークとやりがいのある働きやすい職場環境づくりに努める。

5. 財務の健全化

- ・入退所の円滑な対応に努め、稼働率の安定を図る。
- ・経費削減に努める。

【数値指数】

		特定	一般
利用者定員		50名	
1日平均利用者数		49名	
稼働率		98.0%	
総収入		158,612	
職員数	正職員	17名	
	パート	12名	

施設名 : 松葉学園

【施設理念】

- ・共に考え共に生きる ーその人らしく、ありのままにー

【経営方針】

- ・地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、子どもから大人まで一人ひとりのニーズに対応し、総合的に障がい福祉サービスを展開する。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - 利用者一人ひとりの人権を尊重し、地域に開かれた施設づくりをめざす
 - (1) 利用者の方の思いを実現できるよう工夫して取り組む。
 - (2) 実習生やボランティアを積極的に受け入れる。
 - (3) 事業継続計画や防災関係マニュアルの見直しを行う。
 - (4) SNS、ホームページ、広報誌等を通じて情報を発信し、たくさんの人に知ってもらう。
2. 利用者と家族の幸せ
 - 入所及び在宅利用者へのサービスの充実
 - (1) 生活介護や余暇活動等創意工夫を凝らし、ニーズに沿った活動の充実を図る。
 - (2) 快適な暮らしや日々の活動のための施設環境づくりを行う。
 - (3) 利用者の高齢化対策を検討する。
 - (4) 短期入所利用者の受け入れを行い支援の充実を図る。
 - (5) 事業所ごとの行事等を検討し、地域との関わりを深めながら実施する。
 - (6) グループホームの在り方や定員について検討する。
3. サービスの質の向上と標準化
 - 支援の質の向上：5つの実践力（受容・寄り添い・笑顔・意見・挑戦）を養う。
 - (1) OJTを中心とした人材育成に取り組む。
 - (2) 研修会へ参加し実践に役立てる。
 - (3) 第三者評価内容評価項目の自己評価を実施する。
 - (4) ヒヤリハット・事故のデータ収集、整理分析、有効性確認を行い、改善事項を周知徹底する。
 - (5) 強度行動障害基礎研修を順次受講する。
4. 職員の充実
 - 職員一人ひとりが自分の役割を自覚し、得意分野を施設の機能として生かせる職員体制づくり
 - (1) 自信ややりがいとなるよう支援力を強化する。
 - (2) 結果を出すのは自分達という誇りを持って取り組める職員を育成する。
 - (3) 様々な働き方を認め合えるチームづくりを行う。
 - (4) 資格取得を奨励する。
5. 財務の健全化
 - (1) 適正な人員配置と加算の見直しや検討を行う。
 - (2) 地域連携推進会議や地域移行等意向確認など必要事項を精査し、体制を整備する。
 - (3) 各事業の経営状況を把握し、事業内容や取り組み方を検討し運営する。
 - (4) ICTを活用し業務の効率化を図る。
 - (5) 松葉学園隣接地の造成及び利用方法を検討する。

【数値指数】

	松葉学園			夢の家	いと き館	ぼのぼの		
	施設 入所	生活 介護	短期 入所			児童 発達	放課後 等デイ	保育所 等訪問
利用者定員	30名	47名	5名	41名	20名	20名		5名
1日平均利用者数	29.0名	44.0名	3.7名	39.5名	20.0名	2.0名	19.8名	0.5名
稼働率	96.7%	93.6%	74.0%	96.3%	100.0%	109.0%		10.0%
総収入(千円)	288,474			49,293	99,413	50,777		
職員数	正職員	30名		5名	6名	7名		
	パート	28名		11名	14名	2名		

施設名 : 希望の森

【施設理念】

- ・一人ひとりの思いに寄り添い、自分らしい生き方を尊重する。

【経営方針】

- ・利用者一人ひとりのニーズに柔軟に対応し、これまで培ってきた信頼と専門性を福祉サービスという社会資源として提供し、地域と共に生きる福祉の拠点となることを目標とする。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - 利用者一人ひとりの豊かな生活と安心・安全な暮らしを支え地域に愛され親しまれる施設づくり
 - (1) 利用者のプライバシーや人権を配慮した支援の実践
 - (2) 地域交流行事等による社会貢献活動の取り組み
2. 利用者と家族の幸せ
 - 入所及び在宅利用者へのサービスの充実
 - (1) 利用者が安心、安全に過ごせるための施設環境づくり
 - ・希望の森建て替え計画
 - (2) 入所利用者の高齢化に伴う対策・検討
 - (3) 生活介護、短期入所、日中一時等、利用者の受入体制・支援の充実
 - (4) 地域リーダーとして専門性の高い相談支援
 - (5) 迅速・丁寧な相談支援の対応
 - (6) 法人後見制度への対応
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) OJTを中心とした人材育成
 - (2) 研修会への参加
4. 職員の充実
 - 自分の持っている力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員体制づくり
 - (1) 自分の力を生かせる働きやすい職場環境づくり
 - (2) 人材確保・人材定着を図る為の外部への発信
 - (3) 資格取得の奨励
5. 財務の健全化
 - (1) 適正な人員配置と加算の見直し・検討
 - (2) ペーパーレス化への取り組み
 - ・タブレットやモニターでの会議によるペーパーレス化の推進及び業務の効率化
 - (3) リモートワークの推進

【数値指数】

	希望の森			相談支援	
	施設入所	生活介護	短期入所	計画相談	各委託事業
利用者定員	40名	50名	5名	830件/年	—
1日平均利用者数	39.0名	43.0名	1.8名	—	—
稼働率	97.5%	86.0%	36.0%	—	—
総収入(千円)	304,992			26,169	
職員数	正職員	26名		2名	
	パート	11名		2名	

施設名 : ひまわりの家

【施設理念】

①まわりのように明るく ②まごころと ③わを大切にする ④りっぱな子どもを育てる

【経営方針】

・利用者の満足

私たちは子どもへのいかなる差別・虐待を許さず、権利侵害の防止に努める。そして家庭的な養育環境である小規模グループケアを推進し、よりきめ細やかな支援により、児童の利益を最優先した養育を行う。

・職員の満足

福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、養育・支援の質の向上に向け、施設内外の研修により、知識や援助技術の向上を図るとともに資格取得に努める。

・経営の満足

時代や環境の変化に対応し、安定的・効率的な施設経営を目指す。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 子どもの人権尊重を第一とし、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
- (2) 社会的養護の必要な児童への理解を深め、地域に開かれた施設にする。
- (3) SDGsの目標達成に貢献する。
- (4) 打診があったケースは入所・一時保護・ショートステイのいずれも積極的に受け入れ、地域拠点施設としての役割を果たす

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 多様なネットワークを構築し、福祉ニーズやライフステージの変化に対応する。
- (2) 相談体制を整え、アドミッションケア、インケア、リービングケア、アフターケアの充実を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 私たちは、最良の養育実践を行うために専門的知識の習得や技術の向上に努める。

4. 職員の充実

- (1) 働きやすく、働きがいのある職場づくりを行い、福祉人材の育成と確保に努める。
- (2) 日常から自分で考え・判断する思考を身に付け、主体性ある職員を目指す。

5. 財務の健全化

- (1) 適正な人員配置やコスト削減に努め、利用者及び経営の満足度を高める。

【数値指数】

	児童養護	児童心理
利用者定員	20名	10名
1日平均利用者数	18.0名	7.0名
稼働率	90.0%	70.0%
総収入(千円)	129,488	59,260
職員数(正職員)	14名(兼務3名)	7名(兼務3名)
(パート)	6名(兼務1名)	2名(兼務1名)

施設名 : うわまち未来こども園

【施設理念】

- ・一人ひとりが輝き、“生き抜く力”を培う。

【経営方針】

うわまち未来こども園

1. 体験活動や交流を通して、子どもの主体性を育み、柔軟なところとからだを育てる。
2. 一人ひとりのこころにより添い、自己肯定感を育む。
3. 一人ひとりの特性や発達にそくした養護と教育を一体的におこなう。
4. 職員のスキルアップと、保育の質の向上を目指して、園内外研修や自己研鑽に努める。

放課後児童クラブ：なかよしクラブ

1. 児童一人ひとりを大切にし、保護者、地域から信頼される運営に努める。
2. 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの更なる理解、浸透を図り共通理解に努める。
 - (2) うわまち未来こども園の保育理念のもと、こども・保護者との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立に努める。
 - (3) 様々な発信ツール等を利用して、保育の独自性や専門性の発信に努め、積極的に子育て支援に努める。
 - (4) 様々な取り組みを通じてSDGSへの理解に努め、実践し、保護者・地域へ発信していくと共に、持続可能な施設を目指す。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を図りサービスの提供に努める。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 専門性を高めるための研修や、保育マニュアルの見直しを行い、サービスの標準化に努める。
 - (2) 園内研修などを通して、保育の質の向上と、個別のスキルアップを図る。
4. 職員の充実
 - (1) 働きやすい環境づくりに努める（時間外勤務の適切な管理・休憩時間の確保・有休の取得率の向上・円滑なコミュニケーション・風通しの良い環境・メンタルヘルス対策 等）
 - (2) OJT体制を活用し、現場での職員の育成に努める。
5. 財務の健全化
 - (1) 園児数の動向や収支状況を的確にとらえ、安定した経営・運営が行われるように努める。
 - (2) 災害や感染症拡大に備え、事業継続計画や防災、危機管理対応マニュアルの見直しを行い実効性のあるものとし、防災・減災の取り組みに努める。

【数値指標】

利用者数	定員	145名	0歳児	5名	1歳児	18名	2歳児	18名	3歳児	32名	4歳児	23名	5歳児	36名	計	132名
	園児入所率 91.0%	児童数 (4/1現在)														
特別保育	年間利用 延人数	病児保育（体調不良型）										120名				
		一時預かり保育										300名				
		放課後児童クラブ40名（なかよしクラブ）										12,000名				
職員数	正職員	22名（育休2名含む）														
	パート	27名（放課後児童クラブ9名含む）														
総収入（千円）		189,751														

施設名 : 中川保育園

【施設理念】

- 一人ひとりの子どもの思いを受け止め、様々な体験や人とのかかわりの中で、生きる力を培う。

【経営方針】

中川保育園

- 地域のニーズ把握に努め、保育の充実を図ることで、信頼される保育園を目指す。
- 地域性を活かし、郷土文化の伝承やわらべうた、栽培や調理体験をもとにした食育等、様々な経験を通して心豊かな子どもの育成に努める。
- 保育の質や職員の資質向上を図る為に、自己研鑽に努める。

放課後児童クラブ：ななほし中川

- 子ども一人ひとりを大切に、保護者・地域から信頼される運営に努める。
- 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

- 地域オンリーワン
 - 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
 - 地域の子育て支援の窓口としての役割を果たし、信頼され安心される保育園を目指すとともにSNSなどの情報発信を定期的に行い、保護者、地域の方々への理解度を高めていく。
 - 研修等を通して、SDGSに対する理解を深め、職員・保護者・地域への発信に努める。
- 利用者と家族の幸せ
 - 保護者からの様々な声をもとにニーズを把握し、保育サービスの維持・向上を目指し、より安心・安全な保育環境作りに努める。
- サービスの質の向上と標準化
 - 保育業務マニュアルの見直しや園内研修などを通して、サービスの質の向上と標準化を図る。
 - 個々のスキルアップを図るため、各種研修会の参加を推進し、職員の資質向上に努める。
- 職員の充実
 - OJTリーダーを中心に、職員の育成に努める。
 - 職員間の報連相やコミュニケーションを円滑にし、メンタルヘルスケアや円滑な人間関係などに努め、風通しの良い働きやすい職場づくりを図っていく。
 - ICT化による業務改善を行い、時間外労働の削減、有給休暇や休憩の取得率向上を図る。
- 財務の健全化
 - 将来を見据えた施設設備の確認を行い、適切で安全な保育環境を維持する。
 - 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、防災、減災への取り組みに努める。

【数値指標】

利用者数	定員	60名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 86.7%	児童数 (4/1現在)	0名	4名	9名	11名	12名	16名	52名
	特別保育	年間利用延人数	放課後児童クラブ(ななほし中川) 43名						10,220名
職員数	正職員	12名							
	パート	16名(放課後児童クラブ8名含む)							
総収入(千円)		116,717							

施設名 : 田之筋保育園

【施設理念】

- ・自然の中で、一人ひとりが輝き、生き抜く力の基礎を培う。

【経営方針】

- ・自然豊かな環境を生かした遊びや実体験を通した保育の中で好奇心・探究心・思考力を育て、心身共にたくましい子どもに育つよう努める。
- ・園庭の全面芝生化の継続により、子ども達が安心して遊べる環境作りに努める。
- ・地域の中の保育園として、地域の方との交流や連携を深め、自分らしさを表現することで「人と関わる力」の基礎を育てる。
- ・園内外の研修や資格取得等の自己研鑽に努め、職員のスキルアップと保育の質の向上を図る。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

(1) 基本理念・MDCVSの事業所内への浸透化

- ・子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。

(2) 地域におけるブランドイメージの向上

- ・法人の基本理念・各園の保育理念のもと、園児や保護者との信頼関係を築き安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
- ・SNS等を利用し、情報発信を積極的に行い、保護者、地域の方の園への理解度を高めていく。

(3) SDGSへの取り組み

- ・研修などを通してSDGSに対する理解を深める。
- ・様々な取り組みを実践し、職員・保護者・地域へ発信していくと共に、持続可能な未来を目指す。

2. 利用者と家族の幸せ

(1) 福祉ニーズやライフステージの変化に応えられる利用者満足の更なる向上

- ・地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供ができるようにする。

3. サービスの質の向上と標準化

(1) サービスの「質」及び「標準化」の充実

- ・定期的なマニュアルの見直しを行い、サービスの標準化を図る。
- ・専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、サービスの質の向上につなげる。

4. 職員の充実

(1) 福祉人財の確保・育成

- ・学生のインターンシップや実習生やボランティアの受け入れを積極的に行う。
- ・人材育成委員会を中心にOJT等を活用し、現場での職員の育成に努める。

(2) 働きやすい職場環境の整備による定着化の推進

- ・時間外労働の削減と、有給休暇や休憩の取得ができる体制を構築し魅力ある職場環境をつくる。
- ・相談しやすい職場環境を作り、メンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全化

(1) 事業所単位での経営の安定化

- ・地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映させていくと共に、将来を見据えた計画的な施設整備を実施し、安定した経営に努める。

(2) 事業の「健全性」及び「継続性」の向上

- ・災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、防災・減災への取り組みに努める。

【数値指数】

利用者数	定員	50名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 98.0%	児童数 (4/1現在)	1名	10名	8名	13名	8名	9名	49名
職員数		正職員	10名						
		パート	6名						
総収入(千円)			79,177						

施設名 : 下宇和保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然体験や、さまざまな人とのかかわりを通して「生きる力」の基礎を培う。

【経営方針】

下宇和保育園

- ・子どもを中心に、一人ひとりの育ち、思いを大切に、子どもの育ちを支えていく。
- ・異年齢児とのかかわりを大切に、自然の中での遊びを通じて、強い心・やさしい気持ち・元気な身体を育てる。

放課後児童クラブ：明下田クラブ

- ・共働きや一人親家族の児童に対して、放課後や長期休業・学校休業日に、安全で充実した生活を送ることができるように努める。子どもたちの健やかな成長を願う。
- ・保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
- (2) 法人の基本理念・各園の保育理念のもと、園児や保護者との信頼関係を築き安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
 - ・SNS等を利用し、情報発信を積極的に行い、保護者、地域の方の園への理解度を高めていく。
- (3) 研修などを通してSDGSに対する理解を深める。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供ができるようにする。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 定期的なマニュアルの見直しを行い、サービスの標準化を図る。専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、サービスの質の向上につなげる。

4. 職員の充実

- (1) 学生のインターンシップや実習生やボランティアの受け入れを積極的に行う。人材育成委員会を中心にOJT等を活用し、現場での職員の育成に努める。
- (2) 時間外労働の削減と、有給休暇の所得や休憩ができる体制を構築し魅力ある職場環境をつくる。相談しやすい職場環境を作り、メンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全化

- (1) 地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映させていくと共に、将来を見据えた計画的な施設整備を実施し、安定した経営に努める。
- (2) 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、防災・減災への取り組みに努める。

【数値指数】

利用者数	定員	50名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 86.0%	児童数 (4/1現在)	1名	6名	9名	8名	11名	8名	43名
	特別保育	年間利用	放課後児童クラブ(明下田クラブ) 31名					9,052名	
職員数	正職員	8名							
	パート	13名(放課後児童クラブ6名含む)							
総収入(千円)			83,630						

施設名 : 宇和保育園

【施設理念】

- ・乳幼児の最善の利益を考慮する。
- ・生活の場としてふさわしい安心・安全な保育環境を増進する。
- ・家庭や地域社会と連携を図り、地域の子育て支援の拠点としての機能を果たす。

【経営方針】

宇和保育園

1. 子どもの状況や発達過程を踏まえて、心身共に健全に育つよう環境の中で養護及び教育を一体的に行い「生きる力」の基礎を培う。
2. 地域の人との交流を通して人とのかかわりや様々な実体験により、豊かな心と逞しい身体を育成する。
3. 職員は専門研修を受講し知識・技能を高め、保育の質の維持向上に努める。
一時預かり保育事業・延長保育事業
4. 各家庭の様々なニーズに対応し、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮して柔軟な保育をする。

地域子育て支援センター

1. 地域の子育て家庭の育児不安を和らげ、安心して気持ちよく利用できる環境づくりをする。

放課後児童クラブ：トトロクラブ

1. 共働きや一人親家族の児童に対して、放課後や長期休業・学校休業日に安全で充実した生活を送ることができるように努める。
2. 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン

- (1) 法人の基本理念、園の保育理念のもと安心、安全な保育環境を整備し、園児や保護者、地域との信頼関係と連携を深めていく。
- (2) ホームページ等を利用し、情報発信を定期的におこない保護者・地域の方々の園への理解度を高めていく。
- (3) 災害に備え、防災・危機管理マニュアルの見直しを行い、地域とつながるネットワーク作りに努める。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) ヒヤリハット（気づき）の意識向上と全体への周知を心がけ、安心・安全な環境を整えていく。
- (2) 地域における子育て支援の窓口として、利用者のニーズ把握に努め、関係機関と連携をとりながら地域に密着したサービスの提供と、利用者満足度向上を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 質の高い保育を提供できるように、職員会議等を利用し、マニュアルの読み合わせや、見直しを行いサービスの標準化を図る。
- (2) 園内研修、専門研修会等への参加を促進し、個別のスキルアップを図り、全体的な底上げへとつなげる。

4. 職員の充実

- (1) 時間外労働の削減と有給休暇の取得が更に向上するよう工夫をし、魅力ある職場環境づくりを行う。
- (2) 話しやすい職場環境をつくり、メンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全化

- (1) 地域の出生状況や、保護者、地域のニーズを把握し安定した経営に努める。
- (2) 施設の老朽化にともない、早めに修繕等を検討し計画的に施設管理を行い、安全な環境維持と経営の安定に努める。

【施設整備】

- ・園内床張り替え
- ・園内クロス貼り替え

【数値指数】

利用者数	定員	120名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	
	園児入所率 88.3%	児童数 (4/1現在)	1名	14名	21名	23名	20名	27名	106名	
		年間利用 延人数	夜間延長保育							1,450名
			一時預かり保育							300名
			子育て支援センター							3,000名
放課後児童クラブ（トトロクラブ）							650名			
職員数	正職員	23名（育休2名含む）								
	パート	26名（放課後児童クラブ8名含む）								
総収入（千円）			172,935							

施設名 : 石城保育園

【施設理念】

- ・感性を磨き、「生きる力」を培う。

【経営方針】

- ・様々な体験や交流を通じて、豊かな心やたくましい身体を育む。
- ・一人ひとりの発達過程や状況を踏まえ、養護と教育を一体的に行う。
- ・地域の中の施設として、地域の子育て支援の拠点となり交流や連携を図る。
- ・子どもの人権に十分配慮し、一人ひとりの人格を尊重して保育する。
- ・職員は園内外の研修を通じて専門性を高め、保育の質の維持・向上に努める。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
 - (2) 法人の基本理念・当園の保育理念のもと、園児や保護者との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
 - (3) 地域の関連機関、団体との連携強化に努め、地域に根差した保育園を目指す。
 - (4) 研修などを通してSDGsに対する理解を深め、職員・園児・保護者・地域へ発信していく。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供ができるようにする。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 定期的なマニュアルの見直しをおこない、サービスの標準化を図る。
 - (2) 専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、サービスの質の向上につなげる。
4. 職員の充実
 - (1) 学生のインターンシップや実習生、ボランティアの受け入れを積極的に行う。
 - (2) 人材育成委員会を中心にOJT等を活用し、現場での職員の育成に努める。
 - (3) 時間外労働の削減と、有給休暇や休憩時間の取得ができる体制を構築し魅力ある職場環境を作る。
 - (4) 相談しやすい職場環境を作り、メンタルヘルス対策に努める。
5. 財務の健全化
 - (1) 地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映させていくと共に、将来を見据えた計画的な施設整備を実施し、安定した経営に努める。
 - (2) 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、防災・減災への取り組みに努める。

【数値指標】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 95.0%	児童数 (4/1現在)	0名	1名	4名	2名	7名	5名	19名
職員数		正職員	4名						
		パート	6名						
総収入(千円)			37,012						

施設名 : 多田保育園

【施設理念】

- ・様々な体験や、友だち地域の人々との関わりの中で「生きる力」の基礎を培う。

【経営方針】

- ・施設理念・保育方針・保育目標に基づき、子ども達が安心して自分らしく主体的な行動で過ごせる為に、子どもを中心に保育のあり方を考え、職員のスキルアップと職員相互の連携により保育の質の確保・維持・向上を目指す。
- ・保護者や地域の人々と共に子どもの育ちを支えていくことができるよう、様々な地域との交流や連携を継続し、情報発信を行い、地域ニーズを的確にとらえ、地域に開かれ信頼され、愛される保育園を目指す。

【事業計画】

1. 地域オンリーワン
 - (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSの理解、浸透を図る。
 - (2) SNS等を利用し、情報発信を積極的に行い、保護者、地域の方の園への理解度を高めていく。
 - (3) 研修等を通してSDGSに対する理解を深め、職員、保護者、地域へ発信していく。
2. 利用者と家族の幸せ
 - (1) 子どもの思い、保護者の思いを大切に、保護者アンケートを活かし、保育サービスの維持・向上及び安心・安全な保育環境を提供することで、安心と信頼、期待感を持っていただけるよう取り組む。
3. サービスの質の向上と標準化
 - (1) 定期的なマニュアルの見直しを行い、サービスの標準化を図る。
 - (2) 専門研修会や、全国規模の研修会の参加を推進し、個別のスキルアップを図り、サービスの質の向上につなげる。
4. 職員の充実
 - (1) 人材育成委員会を中心に現場での職員の育成に努める。
 - (2) ICT化による業務改善や見直し等を行い時間外労働の削減を目指す。また休憩時間や有給休暇の取得ができる体制を構築する。
 - (3) 相談しやすく働きやすい職場環境を作り、個々のメンタルヘルス対策に努める。
5. 財務の健全化
 - (1) 園児数の動向や、地域の状況、収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。
 - (2) 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、防災、減災への取り組みに努める。

【数値指数】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 90.0%	児童数 (4/1現在)	0名	2名	1名	1名	6名	8名	18名
職員数		正職数	6名						
		パート	4名						
総収入(千円)			35,299						

施設名 : 高山保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人とのかかわりの中で、一人ひとりが輝き『生きる力』を育む。

【経営方針】

- ・地域の豊かな自然を活かし、様々な体験や地域の人とのかかわりの中で、豊かな心やたくましい体を育む。
- ・一人ひとりの個性や発達に応じた保育を行なうとともに自己肯定感を育む。
- ・地域の状況や保護者のニーズを把握し、経営・運営に反映するように努める。
- ・地域の社会資源の一つとして、様々な地域との交流の場を設け連携を継続していく。

【事業計画】

※重点目標

1. 地域オンリーワン

- (1) 子どもの最善の利益を考慮し、個人の尊厳を守る姿勢をもとに、基本理念・MDCVSを理解し、施設運営に反映させる。
- (2) SNS等を利用し、情報発信を積極的に行い、保護者、地域の方の園への理解度を高めていく。
- (3) 研修等を通してSDGsに対する理解を深め、持続可能な未来づくりへ取り組む。

2. 利用者と家族の幸せ

- (1) 地域における子育て支援の窓口として、関係機関と連携を取りながら地域に密着したサービスの提供が出来るようにする。
- (2) 自己評価と保護者アンケートを自園の評価につなげ、保育のさらなる向上を図る。

3. サービスの質の向上と標準化

- (1) 定期的なマニュアルの見直しをおこない、サービスの標準化を図ると共にコンプライアンス体制の充実と検証を図る。
- (2) 専門分野における知識・技術を高め、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。
- (3) 全職員が同じ方向に向かってサービス提供ができるよう、保育の質の向上に努める。

4. 職員の充実

- (1) 人事制度と評価制度の理解や定着を図り、職員の働きがいや喜びにつなげる。
- (2) 時間外労働の削減と有給休暇や休憩の取得ができる体制づくりの構築をする。
- (3) 相談しやすい職場環境を作り、メンタルヘルス対策に努める。

5. 財務の健全化

- (1) 園児数の動向や収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。
- (2) 災害や感染症拡大等に備え、事業継続計画や防災・危機管理対応マニュアルの見直しを行い、防災、減災への取り組みに努める。

【数値指標】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 60.0%	児童数 (4/1現在)	0名	1名	1名	3名	2名	5名	12名
職員数		正職員	5名						
		パート	3名						
総収入(千円)			60,788						